

緑色で示した部分は、冊子で取り上げている「授業の一例」です。

題材の主な学習活動

第1時

ローラーを使ってどのような表現ができるのか、試しながら自分なりの表し方を見付ける。また、自分や友達の作品を見て、気に入った表現を見付ける。

1 本時のめあてと活動内容を確認する。

ローラーを使って、自分なりの「技」をたくさん見付けよう。

・タブレットを安全に活用しながら作業できるよう、教室内の活動スペースについて知る。

2 参考作品を鑑賞し、どのように表したか予想する。

・参考作品を示し、どのような材料を工夫して使用したかを考え、意見を共有する。

・参考作品の製作過程を記録した動画を見ながら、用意した材料でどのような表現ができるか、材料や用具の扱い方を知る。

3 ローラーの技を見付ける。

・何度も試すことで、ローラーの種類や使い方で様々な形ができることや、色の組み合わせで多様な表現ができることを知り、楽しみながら「技」を見付ける。

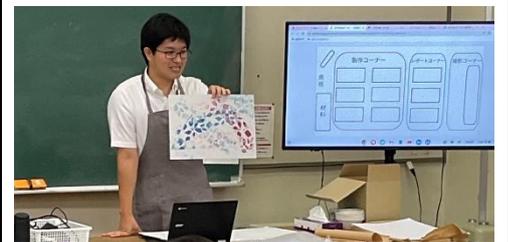
4 自分や友達が試した表現を見て、気に入った表現を見付ける。

・製作した作品を教室の壁面に貼り、お互いに鑑賞できる場を設定する。

・自分の「技」を見いだせた表現と、友達の気になる表現を、タブレットで撮影する。

5 本時の振り返りをする。

・写真を貼り付けた Jamboard を見ながら、自分が見付けた表現について振り返る。



【学習活動1】 参考作品と教室の活動スペースの図を示しながら、題材を通して行う学習活動を確認する。



【学習活動2】 演示を動画で行うことで、製作時間が確保されるとともに、児童がタブレットを活用して何度も見ることができる。



【学習活動3】 友達と教え合い、試しながら「技」について交流する。



【学習活動4】 自分が見付けた「技」や友達の作品から見付けた「技」を写真で記録していく。



【学習活動5】 見付けた「技」を写真と共に振り返ることができる。

ローラーを使ってできた形や色から想像を広げ、表したいことを考え、表現する。

1 前時を振り返り、本時のめあてと学習内容を確認する。

ローラーの技を工夫して、おもしろい「〇〇な感じ」を表現しよう。

- 前時に試した表現活動を振り返り、自分なりの表現方法を考えることで本時のめあてにつなげる。

2 「〇〇な感じ」をキーワードに自分が表現したいイメージをもつ。

- これまでに試した作品の色や形に着目させて、参考作品を鑑賞しながら想像を広げる。

（鑑賞の様子）



あたたかい感じ、さわやかな感じがするのは、色から伝わってくるんだね。わたしは楽しい感じにしたいから何色を使おうかな？

この作品は、強い感じ、激しい感じがするな。これは、形からそう感じたよ。ぼくは柔らかい感じにしたいから、形をどんな感じにしようかな？



3 作品を製作する。

- 製作の過程に着目させるために、自分のイメージに近い、面白い表現が生まれたりしたら、その都度写真を撮る。
- 写真を撮った際には、気に入ったところに印を付けたり、一言コメントを入れたりして、自分の製作意図が分かるようにする。



ローラーを2本使って虹のクラデーションをつくりました。次は、もっと光の感じを出してみたいです。



【学習活動1】 ローラーを使ってできたお気に入りの表現がどのようにしてできたのかについて、Jamboard にまとめた資料を基に、前時を振り返る。



【学習活動2】 黒板に掲示した前時の作品を鑑賞しながら、自分の感じたことを発表する。色や形などの造形的な視点に着目しながら、「〇〇な感じ」を考えることを共通理解する。



【学習活動3】 色や形の感じを考え、ローラーを重ねていく。気に入った表現ができることに写真を撮り、その時に考えたこと、工夫したことを記録することで、後に製作の過程に着目できるようにする。

4 作品と写真から、自分が表現したいイメージに近付けたか振り返る。

- ローラーの使い方、色の重ね方、版の使い方などの視点で、振り返る。
- 次時は、友達とお互いの作品を鑑賞しながら、自分のイメージや意図を伝える活動をすることを確認する。

川をイメージしました。ローラーを転がす位置を変えて、魚が元々よく泳いでいるように見えるよう工夫しました。陸地は湿った感じを出すために、ローラーを引きずって色を付けてみました。



【学習活動4】 Jamboard に作品と振り返りを示すことで、次時の鑑賞活動で作者の思いに触れながら鑑賞することができる。

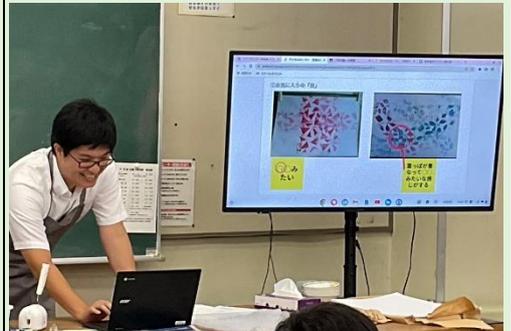
第3時（本時）冊子 p.6に掲載

友達の作品を見てよさや工夫を見付ける。また、形や色からどんな感じがするか考えを伝え合う。

- 1 前時を振り返り、本時のめあてと学習内容を確認する。

「形」や「色」からどんなおもしろい感じがするか味わおう。

- 前時に製作した作品と、Jamboard にまとめた振り返り、形や色などの造形的な視点について確認し、本時のめあてにつなげる。



【学習活動1】 大型モニタを使用し、前時に学んだ造形的な視点について確認する。

- 2 友達の作品を見てよさや工夫を見付ける。
 - 形や色からどんな感じがするか、考えを伝え合うとともに、付箋機能に作品の感想を入力し、作者に伝える。

（話し合いの様子）



春の暖かい様子を表してみたいと思い、こんな作品にしてみました。

満開の桜に見えるね。どのように作ったのか、タブレットの記録をしてみるね。



ローラーの動きを工夫しているね。ピンクの色もとてもきれいで、春を感じるよ。



- 各グループにある作品を自由に鑑賞するとともに、Jamboard に記録された作者の思いやイメージに触れる。

【学習活動2】 作品や、製作過程で撮影した写真をグループで友達と見せ合いながら鑑賞する。また、付箋機能に感想を残す。

3 前時の振り返りと友達の感想を基に、再度自分の作品を振り返る。

- Jamboard に記録してある作品に込めた思いやイメージと、友達が入力してくれた感想を基に、自身の作品や製作過程を振り返る。



③完成作品



虹が出て光もあるけど夜空を書いてみることでファンタジー感を出してみたかったけど失敗しました。個人的には完成作品より制作過程3が一番良かったと思います。

友達の感想

いろんな色があざだった、虹が、にぎやかな雰囲気をだしていいですね。

虹と日光がかかっている感じがしていい色の組み合わせができていてすごいなと思った。

[学習活動3] 作品と、自身の作品に込めた思いや、友達からの感想がまとめられた、Jamboard を基に振り返ることで、作品の新たな魅力に気付くことができる。